

小児科に通院中の患者さまとご家族の方へ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた血液を使用することによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】 多施設共同研究；

- ① 小児特発性ネフローゼ症候群治療における耐糖能異常の病態解明～ブドウ糖負荷試験による長期的・網羅的耐糖能評価～
- ② 小児特発性ネフローゼ症候群における持続血糖モニタリングを用いた耐糖能評価

【研究代表機関名・研究代表者名】 北海道大学病院小児科・高橋俊行

【共同研究機関・当院研究担当者】 市立札幌病院小児科（責任者：佐野仁美、担当者：山崎健史）

【研究目的】 小児特発性ネフローゼ症候群に対する長期ステロイド投与は耐糖能異常を誘発する可能性があり、ブドウ糖負荷試験および持続血糖モニタリングを行うことで早期耐糖能異常の病態・経過を解明し、今後の診療に役立てることを目的とします。

【研究方法】 特発性ネフローゼ症候群の診断で当科通院中の4歳以上18歳以下の患者さんで、ステロイド投与を受ける、あるいはすでに受けている方が対象です。通常診療のなかで、ブドウ糖負荷試験、2週間の持続血糖モニタリングを行います。血糖モニタリングに必要な機器は北海道大学小児科より提供され、研究結果は同小児科で解析されます。

【個人情報の取り扱い】

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。利用する情報からは、お名前など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】 北海道札幌市中央区北11条西13丁目
市立札幌病院小児科 佐野仁美、山崎健史